

講 義 要 項

	臨床判断能力の実践	担当者		
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態	
	1 単位	30 時間	講義・演習	
授 業 目 標				
<p>多重課題トレーニングを通して状況判断能力・優先順位判断力の向上を図る。科学的根拠に基づいた看護実践のプロセスを通して、看護実践における知識・技術・態度について自己の課題を明確にできる。倫理性を考慮した援助が理解できる。</p>				
単元名	目 標	内 容	時間 単位 授業方法	
1. 臨床判断能力の実践の位置づけと必要な判断能力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科目の位置づけが理解できる。 2. 複数受け持ち時の対応の実際を知ることと起こりうる危機について理解できる。 3. リーダーに求められる能力を知り、メンバーシップについて考えることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床判断能力の実践の位置づけと考え方 2. 多重課題の事例と対応 3. リーダーに求められる判断能力 4. メンバーに求められる力 	4	講義・演習
2. 演習：多重課題トレーニング	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根拠に基づき看護技術を選択し、優先順位を考えた服進受け持ちへの援助を実施できる。 2. 適時、適切な人へ報告・相談ができる。 3. 対象の状態に応じた倫理的配慮ができる。 4. 自己の課題を明確にできる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例の理解 2. 優先順位の決定 3. 多重課題と危機 4. 援助の実際 5. 実施後の報告 6. 実施後の評価・自己の課題 	10	演習
3. 演習：事例展開（OSCE）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の自己の課題を意識し、演習に取り組むことができる。 2. 対象の状況に応じた看護を実践することができる。 3. 演習を通して、自己の課題を明確にすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例の理解 2. 演習 3. OSCE 4. まとめ（自己の課題） 	15	演習 OSCE
		修得試験	1 1	
参 考 文 献 等	1. 配布資料			
評 価	1. 演習内容（記録物・実施） 2. OSCE（客観的臨床能力試験）・筆記試験			
備 考				